

# 普通科人文社会科学31班

## 好きな音楽によって作業効率に差が出るのか

班員 茂夢音 寺尾拓海  
大賀百葉 續心良

指導者 森脇達哉先生

### 研究の動機

勉強など作業する際に音楽を使用している私達であるが、より有効活用するにはどうすればよいのか気になったため。

### 研究の目的

音楽を流せば作業効率を上げられるが、それぞれの好きな音楽ジャンルによって作業効率に上がり下がりはあるのかを調べ、日常生活に活かすため。

### 先行研究

- ・BGMが聞こえている状態では読解力が低下
- ・記憶力低下
- ・運動能力向上
- ・テンポが速いBGMは作業スピードが高まる



### 研究方法

1. 計算問題を解く(処理能力)
2. 持久走をする(集中力)
3. 小豆を箸で一粒ずつ運ぶ(巧緻性)
4. 立体パズルを解く(判断力・集中力、空間把握力)

校歌、好きなジャンル、好きではないジャンルの音楽をかけて1～3をそれぞれ2回ずつ行う



### 必要な道具

- ・イヤホン
- ・ストップウォッチ
- ・計算問題
- ・小豆 ・パズル



### 仮説

好きな音楽によって、作業効率の上がり方に違いがあるのではないかと



### 研究計画

春休み	2回または3回、計算、運動、緻密作業、パズルの4つに分類し、研究を行う
6～7月	春休みの研究から課題を見つける
夏休み	課題をふまえて新しい仮説を立て、もう一度実験を行う
9～10月	夏休みの研究からさらに研究を進める
11～12月	ポスター作成

### 参考文献

- ・「好ましい」BGMが作業効率に与える影響 (合掌頭、水野有友理)
- ・背景音楽が身体および精神作業に及ぼす影響 (湊有彩)